

インクルーシブな社会実現のために シニアのICTスキルを高める

シニアの視点から

若宮 正子

シニア対策（高齢化対策）

（生物学的寿命・健康寿命・活動寿命）の延長

- ・ 社会参加・社会活動（ITによる支援）
- ・ 介護予防、ITによる自立支援
- ・ ITによる生活の部分的サポート
- ・ 介護
- ・ 満足死

（手記した部分は今後重要と思われるもの）

ICTスキル向上の重要性 **(本人のメリットが大きい)**

- 本人にとって
利便性、危機管理、
社会参加、自立支援、孤独対策、生きがい、楽しみ
- 家族にとって
安否確認、家族間交流、遠隔サポート
- 地域社会にとって
災害時対策、地域活動についての連絡
- 国の将来のために
電子政府化

IT機器活用を阻害している要因

導入の仕方がわからない、利用メリットがわからない

使いにくい（身体的な面・メンタルな面）

コンテンツの中にシニアが興味をもてるものが少ない

周囲に指導者・相談相手がいない

経済的負担

デジタル機器活用教育・サポート

現状・将来のデジタル技術の進歩を見込んだ教育を。

- ・ 情報学の基本のキホンをしっかりと学ぶ機会を
（リカレント教育等による）
- ・ プログラミングでコンピューターの仕組みを学ぶ
- ・ パソコン教室は
「ワード・エクセル」から脱却してほしい

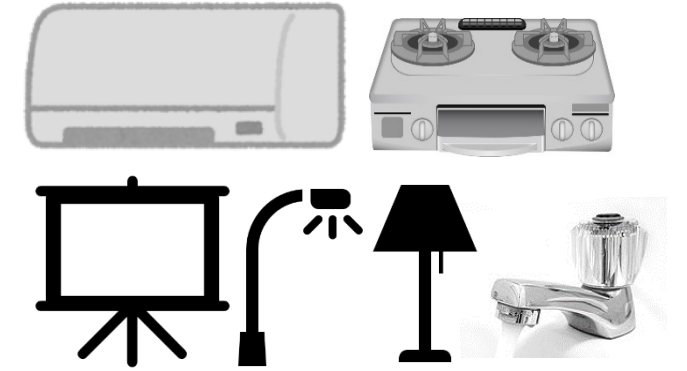
対策

- ネット環境を整備する。
サ高住などの建設時にインターネットの一括導入を奨励。
(補助金、税制面での優遇措置)
- インセンティブ
機器の購入時の助成、無料配布よりも、活用面への奨励金を
(一定以上の役所のサイトの活用に対するインセンティブ)
- シニアに役立つサービス・アプリの開発 (例・次ページ)
- 地域に「お助けマン」を
- (介護現場にITを)

家庭内安心総合チェックシステム（例）



「点けっ放し」のチェック
照明器具、テレビ、
エアコン、ガス器具、水道



「開けっ放し」チェック
ドア（開けっ放し・施錠）
窓（開けっ放し・施錠）
カーテン（開閉）



「干しっぱなし」
ふとん、洗濯物

